

マニラ日本人会 2019 年 12 月理事会議事録

日 時：2019 年 12 月 17 日（火） 12 時～

場 所：日本人会 22 階 A会議室

出席者：清水光彦（会長）、家田昌彦（顧問）、鈴木 知（副会長）、位田浩和（副会長）、小島大助（財務理事）、高野誠司（監事）、多胡直人、森山倫行、中川一也、餅原 力、山岸雄一、岡本和典（以上各理事）
高岡真紀子、上杉啓明、岡村博司、高橋昌幸、石原孝志、岡川知行通（以上各推薦理事）

オブザーバー：

<在比日本国大使館> 桑原公使・総領事、宇田川参事官

冒頭、本日が最後の理事会出席となる鈴木副会長より挨拶があった。

議 事

I. 協議事項

1. 11 月理事会の議事録、及び 2019 年定例会員総会議事録について共に異議なく承認された。

2. 役員人事、委員会人事

①清水会長より以下のとおり役員の人事が諮られ、理事会はこれを承認した。

副会長	細谷明宏	(新)
	鈴木 知	(退)
総務理事	小島大助	(新)
	細谷明宏	(退)
財務理事	高野誠司	(新)
	小島大助	(退)
監事	餅原 力	(新)
	高野誠司	(退)

②清水会長より委員会理事委員の人事が諮られ、理事会はこれを承認した。 変更点のみ

ライブラリー委員会 委員長	石原孝志	(新)
	鈴木 知	(退)

3. 12月新入・退会会員について

事務局から以下のとおり報告があり、異議なく承認された。

*新入個人会員 (6件)

勝又俊宜(JICA)、石川琴絵、上西翔平(Shoketsu SMC Corporation)、野久尾徹郎(Towa Denki Trading Philippines)、矢島綾(WHO Western Pacific Regional Office)、山田征史(SMCC Philippines, Inc.)

*新入賛助会員 (1件)

Frederick A. Fabian

＊退会個人会員（４件）

堂前信茂、郡司圭吾 (Commude Philippines Inc.)、池田昭芳 (Nakano Construction Cost Management Philippines Inc.)、鈴木卓磨 (Nidec Philippines Corporation)

以上の入退会承認後の会員数は、法人会員 392 件、個人会員 647 件、賛助会員 21 件、ジュニア会員 2 件、世帯数は合計 2,692 件である。

II. 大使館からの報告事項

桑原公使より以下の報告があった。

①11 月 26 日から 27 日まで、宮本経済産業大臣政務官が、低炭素技術に関する国際会議 (CEFIA 官民フォーラム) への出席、クシ・エネルギー大臣との会談等のためフィリピンを訪問された。

②12 月 2 日にアジア開発銀行 (ADB) の総務会において、浅川雅嗣氏が全会一致で ADB 新総裁に選出された。2020 年 1 月 17 日付けで着任される。任期は、中尾現総裁の残り任期である 2021 年 11 月 23 日までとなる。

③12 月 6 日、第 9 回日・フィリピン経済協力インフラ合同委員会が神奈川県小田原市で開催された。日本側からは和泉内閣総理大臣補佐官ほか、フィリピン側からはドミンゲス財務大臣、ペルニャ国家経済開発長官ほかが参加された。今回の会合では、2017 年に発表した「今後 5 年間の二国間協力に関する日フィリピン共同声明」のフォローアップを行い、マニラ首都圏の鉄道事業や橋梁耐震補強等のインフラ整備、兵士の武装解除が開始したミンダナオ和平プロセスに関する支援、スービック港湾地域等地方開発に向けた支援などについて意見交換が行われた。

- ④前回の理事会でも報告したテタンコ・フィリピン中央銀行元総裁への旭日重光章の叙勲伝達式を12月11日に大使公邸で行った。
- ⑤日本大使館の来年の休館日について当館ホームページに掲載しているので参照願いたい。年明けは1月2日から開館する。

宇田川参事官からはアンパトゥアン大虐殺事件の判決にともなう注意喚起について報告があった。

12月19日（木）、ケソン市の地方裁判所において、「アンパトゥアン大虐殺事件」の判決が行われる。同判決日の前後には、ケソン市地方裁判所及びキャンプバゴンディワ（タギッグ市：被告人が収容されている施設）周辺においてデモが行われる可能性があるため、これらの場所の周辺には近づかないでください。

III. 報告事項

1. 企画委員会

清水会長より、11月26日に開催の日本人会会員総会が理事会メンバーの協力で無事終了したことに対してお礼があった。

2. 教育委員会（清水委員長）

- ①MJSの授業料の見直しについて学校側とこれまで協議を行ってきたが、先々週の会議をもって方向性が固まり、その内容についての具体的な報告があった。3年前の見直しと同じレベルの値上げで、物価上昇、教室の電子黒板等IT系の遅れを補強することも考慮しているとの説明もあった。
- ②新任教員査証カテゴリー切り替えにともなう所得税課税に関する問題について、今後の対応として1月の教育委員会で本件について承認を得た後、父兄への説明を行う。

③MJS の借地期限について事実と反する様々な噂が流れているので、間違った情報が他からもたらされた場合は、期限は 2024 年までで、それ以降も現在の場所で出来る限り存続する方向で対応していることを事実として伝えて欲しい。

3. 診療所運営委員会（清水会長）

マニラ日本人会診療所をサポートしてきた JOMF（一般財団法人海外邦人医療基金）が、海外における医療環境も改善されてきたことから、その役割も終わり 2021 年 3 月末をもって解散、それに伴い派遣の日本人医師の契約も同時期に終了、帰国する。それ以降は、日本人会が独自で診療所の運営を引き続き行うとの報告があった。また、JOMF の財政面での現状及び今後の補助についても説明が行われた。

4. 日比友好文化委員会（上杉委員長）

国際交流基金マニラ日本文化センター主催の日本語スピーチコンテストと第 1 回高校生日本語ビデオコンテスト：NiviCon for Nihongojin 2020 が 2 月 22 日（土）に開催されるとの報告と、両行事の開催に際し、入賞者及び入賞校への賞品の提供のお願いがあった。また配布資料をもとにスピーチコンテスト出場者募集の説明も行われた。

5. 事務局報告

12 月実施事業、及び 1 月事業予定について報告があった。

以上 終了 12 時 50 分

次回理事会予定 1 月 28 日（火）12 時 日本人会 22 階 A 会議室